



神戸YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

あなたが、したい何かを「みつける」ために。 あなたが、「つながりたい」誰かを探すために。

そして、あなた自身の人生というものがもっと「よくなる」ために。

YMCAはいま、一人ひとりの[私]にとって、かけがえのない場所になろうと、日々、試行を重ねています。ひとりが「よくなる」と、その人と出会った誰かがうれしくなる。

そして、その「よくなる」の連鎖は、 やがて社会や世界を変えていくチカラとなる。

平和を形にしていく原動力となる。 その強い想いを胸に、YMCAは これからも人びとの目線に立ち、活動していきます。

ひとりが「よくなる」と、 社会や世界はきっと変わる。

みつかる。つながる。よくなっていく。



- Vision -

互いを認め合い、高め合う 「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

「ポジティブネット」Positive Net

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、

善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。

課題の多い社会のなかで、それは、生きるための

ひとつの選択肢となっていく。

私たち日本のYMCAは、グローバルなネットワーク基盤を活かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

- Value -

したい何かがみつかり、誰かとつながる。 私がよくなる、かけがえのない場所。

みつかる

つながる

よくなる

Connect

Transform

- Personality -

心をひらき、わかち合う。 前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。

Open & Sharing. Proactive & Attractive.

History

1886年に神戸の地で子ども や若者の社会教育団体とし て設立された神戸YMCAは、 戦後無認可の保育事業を開 始し1970年に財団法人西神 戸YMCA保育園(当時:神戸 市長田区)を設置しました。 また「かぎっ子クラブ」(学童 保育クラブ)を神戸市で初め て民間組織として開始し、乳 幼児教育・保育を実践してきました。

- 1886 神戸基督教徒青年会 (現神戸YMCA) が発会
- 1964 神戸市第1号となる学童保育教室開始
- 1965 神戸大学工学部跡地 (神戸市長田区水笠通1-3) に西神戸青少年センター献館
- 1970 財団法人神戸YMCA 西神戸YMCA保育園設置
- 1972 兵庫県社会賞受賞、今井鎮雄 元総主事 兵庫県功労者表彰受賞
- 1973 神戸YMCAちとせ幼稚園 須磨・高倉台に移転
- 1981 西宮青少年センター(西宮YMCA落成)
- 1988 社会福祉法人神戸YMCA福祉会設立YMCA保育園開園
- 1997 財団法人 西神戸YMCA保育園 阪神淡路大震災により廃園
- 1999 学校法人神戸YMCA学園 西神戸YMCA幼稚園 開園
- 2003 社会福祉法人神戸YMCA福祉会 西宮YMCA保育園開園
- 2005 神戸市指定管理事業として神戸市立太山寺児童館の運営受託 社会福祉法人 神戸YMCA福祉会 YMCA保育園おひさま分園開園

- 2006 兵庫県社会賞受賞
- 2007 内閣府 善行青少年団体受賞
- 2009 社会福祉法人神戸YMCA福祉会 西神戸YMCA保育園開園
- 2012 社会福祉法人 神戸YMCA福祉会 西宮つとがわYMCA保育園開園
- 2013 社会福祉法人 神戸YMCA福祉会 法人設立25周年
- 2015 社会福祉法人 神戸YMCA福祉会 神戸学園都市YMCAこども園開園
- 2016 社会福祉法人 神戸YMCA福祉会 児童発達支援事業YMCAおひさま設置
- 2018 社会福祉法人 神戸YMCA福祉会 放課後等デイサービスYMCAおひさま設置
- 2019 西宮市指定管理事業として香櫨園地域子育て施設(子育てひろば)の運営受諾
- 2020 西宮市指定管理事業として西宮市立浜脇・用海留守家庭児童育成センターの運営受諾神戸市指定管理事業として神戸市立たかとり児童館の運営受託

YMCAの教育・保育の理念

イエス・キリストの愛と奉仕の精神に基づき、

一人ひとりのいのちが輝く平和な社会の実現を目指します。





YMCAの教育・保育の使命

- 子ども -

一人ひとりの子どもが愛されていると感じることができるように守り育てます。

- 家 庭 -

子どもの成長をともに喜び合えるように家庭と手を携えていきます。

一地 域一

地域の人々と、ともに生きる社会の形成を担います。







YMCAの大切にしていること

●食育 ~心も体も育む~

栽培、クッキング、手作りおやつ、誕生会(行事)の食事、食物アレルギー対応など

●体を動かすあそび ~自然との出会いを大切に~

体育あそび、園外保育、キャンプ、雪あそび、歩くこと

●違うことの大切さ ~出会いと交わり~

異年齢保育、異文化保育、統合保育(障がい児保育)など

●コーナー保育

自分で選んだ遊び(ごっこ遊び、積み木、ルールのある遊び、絵やぬり絵、 製作や折紙)などを一人で、または友だちと、継続して遊ぶ時間と空間を 大切にしています。

●保護者とともに

保育参加、親子交流会など

●地域とともに

近隣小学校・中学校・高校との交流、地域住民のボランティア参画、 地域チャリティーバザーなど

YMCAのキリスト教保育

乳幼児期は人間形成の「根っこ」が育つ大切な時期です。

この根っこは、神さま、そして保護者や保育者から、「あなたが大事」という温かくて豊かな栄養が含まれた家庭やこども園や地域というそれぞれの場の、さまざまな人間関係のなかで、育てられ、育ちます。

子どもたちは、自分の存在をありのまま認められ、思いを受け止めてくれる人に支 えられながら、自分の力で根っこを伸ばしていきます。早く伸ばそうと引っ張って みても根っこは伸びません。水や栄養を与えすぎても根っこは腐ってしまいます。

「おもしろそう」「やってみよう」「こうしたらどうなる?」などと、子ども自身が生活や遊びのなかで、興味や意欲を示し、その思いを受け止め、支えてくれる大人がそばにいると根っこはどんどん伸びていきます。

YMCAのこども園では、見たり、聞いたり、触ったり、匂いをかいだり、味わったりと、子どもたちが五感を存分に用いて、心とからだを動かすことを大切にしながら、仲間とともに育ち合い、太くて長い根っこを伸ばしていってくれることを願って保育しています。太くて長い根っこを伸ばせば、雨や風などに負けない「太く頑丈な木」となり、一人ひとり違う花を咲かせ、その子らしい実をみのらせるでしょう。「根っこ」の成長は見えませんが、その子らしさを大切に、一人ひとりの成長を信じ、ともに喜び、見守っていきます。



神戸YMCA福祉会の施設

YMCAなら、したい何かがきっとみつかる。

幼保連携型認定こども園

YMCA保育園





幼保連携型認定こども園

YMCA保育園おひさま分園



住所:神戸市西区学園西町5丁目4

電話: (078) 794-3901 FAX: (078) 795-4358

定員:145名(2・3号定員130名、1号定員15名)

<含おひさま分園20名>

年齢:生後6か月から就学前まで







住所:神戸市西区学園西町7丁目2-1-101

電話: (078) 794-4080 FAX: (078) 794-4080

定員:20名

年齢:生後6か月から2歳児まで









幼保連携型認定こども園

西神戸YMCA保育園



20人 10人 84人

住所:神戸市西区学園西町1丁目1-2

電話:(078) 792-1011 FAX: (078) 792-1239

定員:85名(2・3号定員70名、1号定員15名)

年齢:生後6か月から就学前まで



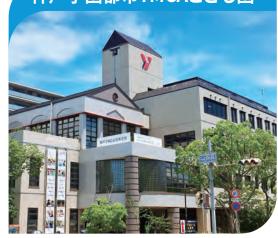






幼保連携型認定こども園

神戸学園都市YMCAこども園



18人 **23**人 **19**0人

住所:神戸市西区学園東町2-1-3

電話: (078) 791-2955 FAX: (078) 791-2956

定員:利用定員83名(2・3号定員80名、1号定員3名)

<認可定員90名>

年齢:生後6か月から就学前まで





太山寺児童館



住所:神戸市西区学園西町5丁目2-3

電話: (078) 794-4790 FAX: (078) 794-4790

開館日:平日・土 午前9:30~午後5:00 (午前12時~午後1時は昼休みのため閉館)

対象:0~18歳(入学前の幼児は保護者の同伴が必要です)



詳しくは Webで御覧 ください!



たかとり児童館



常勤職員 /非常勤職員 **年間利用者 13**,840人

住所:神戸市須磨区行平町2丁目2-17

電話: (078) 735-6230 / (078) 220-4733

FAX: (078) 735-6230

開館日:平日・土 午前9:30~午後5:00 (午前12時~午後1時は昼休みのため閉館)

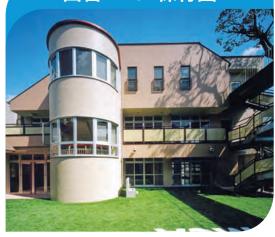
対象:0~18歳(入学前の幼児は保護者の同伴が必要です)





幼保連携型認定こども園

西宮YMCA保育園



住所:西宮市神楽町5-23 電話:(0798) 35-5992

FAX: (0798) 35-6002

定員:63名(2・3号定員60名、1号定員3名)

年齢:生後6か月から就学前まで







幼保連携型認定こども園

西宮つとがわYMCA保育園



18人 12人 75人

住所:西宮市津門川町2-14 電話:(0798) 26-1016

FAX: (0798) 26-1112

定員:63名(2・3号定員60名、1号定員3名)

年齢:生後6か月から就学前まで

詳しくは Webで御覧 ください!



香櫨園子育てひろば





住所:西宮市中浜町3-32 電話:(0798) 33-5630

FAX: (0798) 33-5630

開館日:火~土 午前10:00~午後4:00

対象:子どもと保護者(0~5歳児 未就学児)









浜脇留守家庭児童育成センター



常勤職員 /非常勤職員 **4 175** 人

住所:西宮市浜脇町5-48

電話:第1 (0798) 34-1444

第2 (0798) 32-1340 第3 (0798) 22-5594

FAX:同上

定員:190名

開所日:平日13:30~19:00 土曜日8:00~17:00 日・祝日閉所

長期休暇平日 8:00~19:00 土曜日8:00~17:00

対象:小学校1年生~3年生(ただし障がいのある場合は6年生まで)

用海留守家庭児童育成センター





住所:西宮市用海町3-54

電話&FAX:第1 (0798) 35-1522

第2 (0798) 36-1155

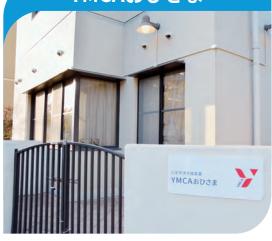
定員:128名

開所日 平日13:30~19:00 土曜日8:00~17:00 日・祝日閉所 長期休暇平日 8:00~19:00 土曜日8:00~17:00

対象:小学校1年生~3年生(ただし障がいのある場合は6年生まで)

児童発達支援事業/放課後等デイサービス

YMCAおひさま



住所:神戸市西区学園東町2-1-3

電話: (078) 793-9077 FAX: (078) 791-2956

サービス提供日:月~土

(祝日、8月13日~15日、12月29日~1月3日を除く、

対象:1~3歳の親子、3~5歳児、就学児童

Webで御覧 ください!





先輩からのメッセージ

出会い、導き、輝く。 子どもたちと喜び合い、育ち合う、 YMCAはそんな仲間を 求めています。

●その他の出身校

頌栄短期大学 夙川学院短期大学 甲南女子大学





2017年度入職 神戸学園都市YMCAこども園

大和田 莉沙

出身校:関西学院大学

子どもにつながる中で、 学びと喜びを感じています

私がYMCAで働きたいと思った理由の1つは、保育実習をしたときに、子どもたちがのびのびと過ごしているのはもちろん、先生と子ども、先生同士がいつも笑顔で温かい雰囲気で関わっている姿を見たからでした。

夢であった保育士になり、嬉しい気持ちがある一方で、不安も大きくありました。それでも働き始めてみると、分からないことだらけの私に先輩方はいつも優しく丁寧に教えてくださり、「慣れてきた?大丈夫?」と気にかけてくださいました。その一言一言がとても温かく、私の不安がどんどん消えていきました。

初めて受け持つクラスは0歳児クラスでした。ハイハイをしていた子どもたちが歩けるようになったり、言葉で何か伝えようとしてくれたり、日々子どもたちの成長に驚かされ、そして「私ももっと頑張ろう!」と刺激をもらっています。

まだまだ分からないこともある私ですが、先輩の先生の姿から、そして子どもたちの姿からたくさんのことを学び、毎日楽しく過ごしています。この温かい雰囲気が魅力のYMCAで一緒に働きませんか?



2016年度入職 西宮YMCA保育園

うえむら みかな **植村 美奏**

出身校:聖和短期大学

頑張るだけじゃない、 大切なことを教わりました

「頑張らなくていいんだよ。頑張り過ぎたらしんどくなる。 楽しむのが一番!」これは、私が研修の時に言われた言葉 です。

(ここで保育したい!と思える保育園に巡り会えたものの、)昔から人見知りの私は研修でも緊張してばかりでした。うまくいかないことも多く、落ち込んでいると「どうだ?慣れてきたか?」と園長に明るく声をかけられました。私は「全然だめです…でも頑張ります!」と答え、きっと「もっと頑張れ!」という風に言われるのだろうな…と思っていると、返ってきたのは「頑張らなくていい」という予想外な言葉でした。

この言葉を聞いた瞬間、一気に心が軽くなり、まずは自分が 『楽しむ』ということの大切さに気づきました。(今でもこの 言葉は私の中で生きています。)

日々、保育をする中で楽しいことはたくさんありますが、同じくらい悩むこと、落ち込むこともあります。しかし、そんな時はいつも励まし支えてくださる先生方がいます。相談すると、自分のことのように一緒に悩み考え喜んでくださる先生方がいます。YMCAはそのような先生方と共に、子どもに寄り添える、あたたかく素敵な場所です。



2013年度入職 神戸学園都市YMCAこども園

宮井 彩

出身校:神戸女子大学

「おいしかった!」「またつくってね」 やりがいのある環境です

大学で4年間栄養の勉強をしていく中で、これからどんどん 成長していく子どもたちのために働きたいと思うようになり ました。食事は子どもたちの体を大きくするだけでなく、楽 しい時間を過ごしたり、生きる力を身につけることにつな がったりします。自分が勉強してきたことを子どもたちのために生かしていこうと思いました。

YMCA保育園に入職してすぐは、食材の量と多さに驚きましたが、YMCA保育園では毎日お出汁をとったり、おやつを手作りしたりと『食べること』を大切にしているなと感じる毎日でした。子どもの食事とはいえ、大量の食材を下処理し調理する毎日で不慣れなことも多くありましたが、子どもたちと一緒にごはんを食べる時に「これおいしかった!」「またつくってね。」と言われると今でもとても嬉しくなります。また、一緒に働く保育士の先生からも「今日のごはんおいしそう」と言われることも多く、それも仕事のやりがいにつながっています。

子どもたちがごはんやおやつを楽しみにしてくれる、そんな 環境で仕事ができていることに感謝し、これからも子どもた ちの体と心が大きくなることを願って毎日の食事を作ってい きたいと思います。



2017年度入職 太山寺児童館

ふじさと ゅき藤郷 唯希

出身校:武庫川女子大学

「あぁ、いい仕事だな」 と思うのです

ふと、「あぁ、いい仕事だなあ」と思うのです。ひとりの人間と向き合うということは、正直とても難しいです。それが子どもの数だけですから、「簡単な仕事です」とはとても言えません。しかし本当に面白い。私は、自分とは違う考え方や感性にふれるのが好きなのですが、実にいろんな人に出会えます。その素晴らしい個性を持つ一人ひとりが、泣いたり、笑ったり、毎日を、一瞬一瞬を全力で生きる姿を目の当たりにできます。

最近、思いっきり笑ったことはありますか?私は毎日です。それも仕事中に。そんな経験をさせてくれる彼らが、自分を大切にして、他人を尊重しながら、強く優しく生きていってくれることを願っています。そのために私にできることは何か考え、実践する日々です。

まずは子どもたちにとって、またそのご家族にとって、 ほっと一息つける、安心できる場所になれるといいなあ と思いながら、今日も彼らとの時間が始まります。

「おかえり!」



2015年度入職 YMCA おひさま

ほそみ ひろこ 細見 浩子

出身校:大阪人間科学大学、日本福祉大学大学院

心を揺さぶられるような 出来事が起こる毎日

YMCAおひさまには、発達がゆっくりな子どもたちや『学び方』が違う子どもたちが通っています。ですので、職員はいろんな職種で構成されています。保育士、幼稚園教諭、小中教諭、臨床心理士、ソーシャルワーカー、資格のない職員もいますが、一人ひとりが専門職 (プロ)として、チームになって子どもたちと保護者に寄り添います。

一人ひとりの子どもたちの個性はキラッキラに輝いています。もちろん毎日いろんな出来事があり、私たちの作戦は失敗に終わることも少なくはありません。そんな中でも『なるほど! そんな風に感じてたのか!』と気付けたり、子どもたちの『できた!! やった! 楽しい!!』という瞬間を一緒に積み重ねています。作戦が成功したときは、保護者と職員は目を合わせて『見た?』と言わんばかりに皆で感動の拍手なんですよ。とはいえ、専門機関ですから、私たちは子どもたちと接する中で、言葉にならない想いに感性(センス)を磨き、保護者

『地域の子どもたちと保護者が安心できる場を作りたい。』 毎日、心を揺さぶられるような出来事が起こるこの仕事が、 何でか私には興味深くって、面白くって仕方がないようです。

の心配や不安に真摯に向き合い、専門職(プロ)としての知

識を身に付けていかなければいけません。

YMCAのお昼ごはん・手作りおやつ



YMCAでは、『味わう』だけでなく『みえる』『きこえる』『におってくる』といった五感で食を感じることを大切にしています。 そして、先生たちも子どもと一緒にお昼ごはんや手作りおやつを毎日味わっています。



毎月のお誕生会では季節にあわせて、お祝いのメニューを考えています。味わうだけでなく、目で見て楽しむことも大切にしています。



さつま芋、レンコンを薄切りにし、ゴボウはぶつ切りにし、薄く味付けして油で揚げます。よく噛んで、素材の味を楽しむメニューです。



酢飯に甘辛く味付けした牛肉とゴボウを混ぜたお寿司は、こども園 自慢の一品!さっぱりとしていて、暑い夏でも「おかわり!」の声が聞 こえます。



トントントンという音と美味しそうな香りに誘われて、お台所をのぞきに来た子どもたち。「きょうのごはんなぁに?」「おいしそう!」という声が聞こえてきます。



こども園での冬の定番メニュー。 じっくりコトコトと煮込んだ優しい味わいに、身体も心もほっこり温 まります。



パン生地のドーナツ!! フワフワした食感で、子どもたちにも先生たちにも大人気のおや つです。

採用までの流れ



- STEP 1 - YMCAを知る

各市で行っている就職フェアや各地域のYMCAで行う就職説明会・見学会に参加して、 まずはYMCAに触れてみてください。



- STEP 2 - YMCAを感じる

就職説明会や見学会では、実際に働いている職員ともお話していただき、職場の様子や仕事の内容だけでなく、 どんな職員がいるのか、どんなつながりで働いているのか、思いや願いを感じていただけます。 また希望される方は、就業体験をしていただくことも可能です。



- STEP 3 - 採用試験にエントリーする

就職を希望される方は採用試験にお申し込みください。 職種ごと、エリアごとで採用枠があり、それぞれで採用試験を実施します。



私たちの組織





社会福祉法人神戸YMCA福祉会 理事長 **井上** 真二

Greeting - ごあいさつ-

YMCAは1844年イギリス・ロンドンで青少年をたちの全人的な成長を願って誕生し、現在は世界120の国と地域に展開されています。神戸YMCAは、1886年に設立されて以来、地域の人々とともに歩んでまいりました。1970年に神戸市長田区で西神戸YMCA保育園が開園して以来、50年の月日を経ながら子ども・家庭・地域ということを中心において教育・保育の働きを行っています。また、障がいのある子どもたちもともに希望をもって生きることができるようにと願い、1953年の肢体不自由児キャンプをはじめ、現在では、児童発達支援事業や放課後等デイサービスも含め、様々な活動を行っています。地域にある児童館では、乳幼児の家族や学童保育事業に加え、学習支援活動など幅広い働きをなしています。

私たちはこれらの働きを通して、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながる、ポジティブネットというネットワークを創っていきます。課題の多い社会のなかで、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。私たちYMCAは、グローバルなネットワーク基盤を活かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

ぜひあなたも、私たちとともに、このような働きの仲間として歩んでいただければと願います。

YMCAとは

世界120の国と地域でおよそ5800万人の会員が活動しているNGO(非営利組織)です。

日本のYMCAは、全国35都市、200を超える拠点で14万人が参加し、自らの学びや健康、社会課題の解決のためのさまざまな活動を行っています。

あらゆる年代・性別・宗教の人々と「互いを認め合い、高め合うポジティブネットのある社会を創ること」を目標としています。

